

## 取扱説明書

### TMS-HM44

#### 4 入力 4 出力 HDMI シームレスマトリックス

#### ビデオウォールマルチビュー

#### コントロールユニット



Manual Version 1.0  
株式会社スリーディー  
2026 年 4 月

#### 注意事項

使用者の安全を保護し、財産上の損害を避ける為の内容ですので、注意してお読み下上正しく使ってください。



#### 危険

- 設置する前に必ず本機器の電源ケーブルを外した状態で設置してください。なお、コンセントには規定以上の機器を接続し、同時に使用しないでください。異常発熱及び火災、感電の恐れがあります。
- 本製品の上に液体が入っている容器を置かないでください。液体が製品内部に入ると故障及び火災の原因になります。
- 電源ケーブルや信号ケーブルを無理に曲げたり、ケーブルの上に重い物を置くなどして、ケーブルを損傷しないようご注意ください。火災の原因になります。
- 本製品内部に高電圧部分があります。ケースを開けたり、分解、修理、改造しないでください。異常作動により火災、感電、ケガの恐れがあります。
- 湿気、埃及び煤が多いところには設置しないでください。感電、火災の原因になります。
- 電源ケーブルを無理に引っ張ったり、濡れた手で電源プラグを差し込んだり、取外さないでください。なお、電源プラグの差し込みが緩いと感電の場合は、他の電源コンセントを使ってください。感電、火災の原因になります。
- 本機器設置の際や、設置後は、埃のないように適正に掃除をしてください。特に機器を拭く際には、水、シンナー、有機溶剤を使用せず、乾いた柔らかい布で拭いてください。機器の表面が損傷したり、本体が故障あるいは感電の恐れがあります。
- 製品を直射光線が当たらない涼しい場所に設置し、適正温度を維持してください。湿気が多い場所や、暖房器具など熱がある場所を避けてください。人の往来が多い場所も避けてください。火災の恐れがあります。
- 本製品は屋内使用向けに設計されています。屋外で使用する場合は、防水対策用の追加機器および雷による損傷を防ぐためのサージプロテクタの設置を推奨します。
- 接地されてない電源ケーブル、古い電源ケーブルなどを使用しないでください。作業する際には、危険事項確認し、懸念事項がある場合には、購入先、製造元、あるいは専門技術者にお問い合わせください。感電、火災の原因になります。
- 電源ケーブルや背面の各端子部分を壁に密着しないでください。背面は壁から 15cm 以上、側面は 5cm 以上離して設置してください。感電、火災またはケガの原因になります。



#### 警告

- 本製品の使用条件は 0°C～50°Cです。50°C以上、または 0°C以下の場所や、雨、雪または湿気が多い場所、油やガスが溜まりやすい場所、振動や衝撃のある場所、直射日光や外部に面した場所、強い磁気や高周波(RF)、送電線の近辺には設置しないでください。製品の性能が低下したり、故障の原因となりますのでご注意ください。
- 設置の際は水平な安定した場所に、本体をしっかりと固定してください。なお、垂直での設置は推奨していません。誤動作の可能性があります。また、機器が倒れてケガをする恐れがあります。
- 強い衝撃や振動は故障の原因となります。設置の際や使用時には注意してください。

- お子さんや機器の使用に慣れていない人に使用させないで下さい。
- ケーブルの配線を変更する場合は、電源が切れていることを確認してから行ってください。
- 設置時に間違えて結線しないよう注意してください。
- 設置前に使用電源の電圧を確認してから電源を投入してください。
- **製品に接続する電源アダプターは、DC12V/2A 以上の安全規格・電磁波認証を取得しています。必ず正規品をご利用ください。正規品以外でご利用の場合は無償保証期間内であっても保証いたしかねます。**
- 定格容量以上の機器を接続すると、機器の異常や火災の危険があります。絶対に使用しないでください。
- 機器から煙や臭いがする状態で使用すると、火災や感電の危険があります。このような場合には、すぐに電源を外して販売店や工事店にお問い合わせください。電源が入らないときは、電源ケーブルが正しく接続されているか確認してください。
- システムの性能を維持するために、定期的に点検を受けることを推奨します。
- アフターサービスは、弊社の専門スタッフが行います。
- 設置後はいつでも本マニュアルを参照できるよう大切に保管してください。

### 注意

- 電源プラグは手の届く場所に設置してください。  
製品動作に問題が生じた場合には、電源プラグを外し本体から完全に電源を遮断することを推奨します。本体の電源スイッチを切っても電源は完全遮断されません。
- HDMI 信号の伝送には認証済みの HDMI 用の高品質 HDMI ケーブルを使用してください。
- ビデオウォール用途では、同一メーカーかつ同一解像度のモニターの使用を推奨します。
- 赤外線リモコンが反応しない場合は、電池残量を確認してください(特に低温環境下)。または、赤外線リモコンの ID を再設定してください。
- RS232 はハードウェアハンドシェイクをサポートしていません。

### [更新履歴]

このマニュアルはスリーディーの製品である 4ch HDMI マトリックススイッチャー TMS-HM44 の設定、操作についての内容です。製品特徴や注意事項を熟知し大切に保管して下さい。

全ての設定は予告なく変更する場合があります。本書に記載されている内容については保障しますが、第三者の権利侵害に関与しては責任を負いません。

### ■ お問い合わせ先

株式会社スリーディー 画像通信システム事業部

〒154-0004 東京都世田谷区太子堂 4-1-1

TEL. 03-5431-5971(代)

FAX. 03-5431-5970

<https://www.3d-inc.co.jp/>

E-mail:info@3d-inc.co.jp

### 目次

1. はじめに.....	4
1-1 梱包品.....	
1-2 マニュアルについて.....	
1-3 記号の意味.....	
1-4 安全のために.....	
1-5 製品ラベル情報.....	
2. 製品の特徴.....	5
2-1 概要.....	
2-2 特長.....	
2-3 適用例.....	
2-3-1 マトリックススイッチャー.....	
2-3-2 ビデオウォールモード.....	6
2-3-3 マルチビューモード.....	
3. 設置.....	6
3-1 開梱.....	
3-2 各部の名称.....	7
3-2-1 前面パネル.....	
3-2-2 背面パネル.....	
3-2-3 名称.....	
3-3 操作方法.....	8
4. 設定・操作.....	9
4-1 マトリックスモード.....	
4-2 ビデオウォールモード.....	10
4-3 マルチビューモード.....	11
5. 赤外線リモコン.....	13
5-1 リモコン ID の設定方法.....	
5-2 ボタンの説明.....	14
6. OSD メニュー.....	15
6-1 SETUP.....	
6-2 PICTURE.....	16
6-3 SYSTEM.....	
7. RS232 による操作.....	17
7-1 コマンド形式.....	
7-2 コマンド一覧.....	
8. 製品仕様.....	20

## 1 はじめに

### 1-1 梱包品

以下の製品が同梱されているかお確かめください。




マトリックス本体	1 台
赤外線リモコン	1 式 (電池 CR2025)
電源アダプターDC12V	1 個
端子台(緑)	5 個 (5 口 x4、3 口 x1)
ラックマウント金具	1 式
ゴム足	4 個
マニュアル	1 部

### 1-2 マニュアルについて


本マニュアルは、TMS-HM44 4 入力 4 出力の HDMI シームレスマトリックススイッチャー兼ビデオウォールマルチビューコントロールユニットについての説明です。

設置・設定・操作・運用について記載しています。このマニュアルをよくお読みになって、製品を正しくご利用ください。

### 1-3 記号の意味

	<b>危険:</b> 電気ショックの危険があります。電源を抜いてから作業を行ってください。
	<b>警告:</b> システムの正常動作のために非常に大切作業です。記載事項をよく読んでから作業を実行してください。
	<b>注意:</b> 製品仕様に関する記述事項です。 次のステップをよりよく理解するために本記載事項を注意深く読んでください。

### 1-4 安全のために

 設置の際には、本マニュアルの冒頭に記載の注意事項をお読みになり、安全に作業を実行してください。

### 1-5 製品ラベル情報

設置の際には、製品本体の電源仕様と付属の電源仕様が適合していることを確認の上、電源を入れてください

## 2 製品の特長

### 2-1 概要

TMS-HM44 は、4K60Hz 解像度に対応した 4×4 4ch の HDMI 信号を入力し、任意の入力 CH を切り替えて任意のチャンネルに HDMI 信号で出力できます。

シームレスな切替えにより映像遷移時のフレームロスを防ぎます。2 台×2 台のビデオウォール表示やマルチビュー表示にも対応。複数の映像信号経路を高精度かつ安定的に管理し、低遅延でのシームレスなスイッチングを可能とします。

産業施設、工業施設、大型商業施設、大規模マンションなど多数のカメラや映像機器が設置された場所で、映像を分散、あるいは統合し、閲覧する際にとても有用です。この TMS-HM44 により効率的なセキュリティシステムを構築できます。

### 2-2 特長

- ・ 最大 4K60Hz の高解像度入力に対応
- ・ フレームロスを抑制するシームレススイッチング機能を搭載
- ・ 4 系統の入力ソースを選択可能な 2×2 ビデオウォール表示に対応
- ・ 複数映像を同時表示できるマルチビュー機能をサポート
- ・ OSD メニューによる詳細設定に対応
- ・ パネルボタン・赤外線リモコン・RS232 による制御に対応し、操作性を向上

### 2-3 適用例

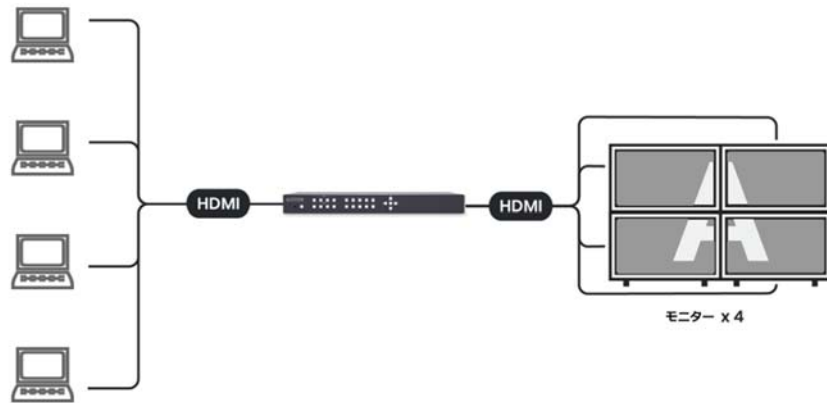
#### 1) マトリックススイッチャーモード

任意の機器のフル画面を任意のモニターへ表示



## 2)ビデオウォールモード

2×2 モニター4 台でさらに大画面表示が可能




## 3)マルチビューモード

複数の映像を同時に表示



## 3 設置

 設置は、必ず専門の技術者が行ってください。

## 3-1 開梱

製品パッケージが損傷していないかご確認ください。また、1-1 に記載の梱包品が揃っているか確認してください。

製品のパッケージは、リサイクル可能です。行政で定められた処理方法に従って処分してください。

## 3-2 各部の名称

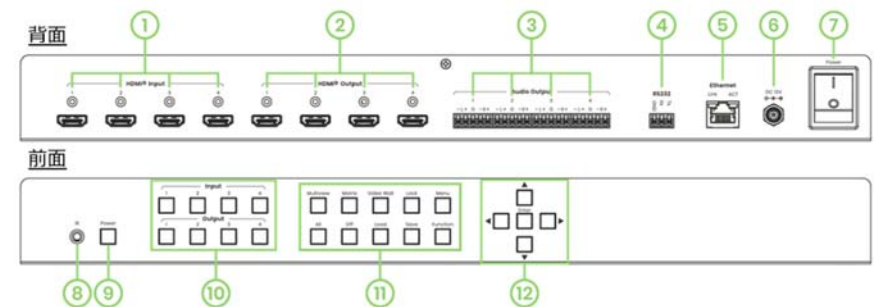
## 3-2-1 前面パネル



## 3-2-2 背面パネル



## 3-2-3 名称



- ① HDMI 信号入力 1~4
- ② HDMI 信号出力 1~4
- ③ 音声出力 1~4
- ④ RS232C : RS232C 制御用
- ⑤ Ethernet : (無効)
- ⑥ DC ジャック: 付属 DC 電源接続
- ⑦ 電源スイッチ ON/OFF
- ⑧ リモコン赤外線受光部
- ⑨ 本体スイッチ: ON 青点灯 / スタンバイ 赤点灯
- ⑩ 入力・出力選択ボタン



背面電源スイッチ⑦で電源を入れると、前面のスイッチ⑨が赤く点灯します。前面スイッチ⑨を押すと、本体が起動し、前面スイッチ⑨が赤から青の点灯に変わります。

## ⑪ 機能ボタン

- Multiview : マルチビューモード選択ボタン  
 Matrix : マトリックススイッチャーモード選択ボタン  
 Video wall : ビデオウォールモード選択ボタン  
 Lock : パネル操作ロック/解除ボタン  
 Menu : OSD メニュー呼出ボタン  
 All : 全出力選択ボタン  
 Off : 全出力停止ボタン  
 Load : マルチビュー/マトリックススイッチャーモード  
           シーン 1~8 に保存されたレイアウト/ソースを呼出  
           ビデオウォールモード  
           シーン 1~8 に保存された画面位置を呼出  
 Save : マルチビュー/マトリックススイッチャーモード  
           現在のレイアウト/ソースをシーン 1~8 に保存  
           ビデオウォールモード  
           現在の画面位置をシーン 1~8 に保存  
 Function : ビデオウォールモード ベゼル補正  
           マルチビューモード ウィンドウレイアウト選択

## ⑫ 方向ボタン・確定ボタン

- UP(上) : OSD メニュー内での上方向移動  
           ビデオウォールモード時、画面の上方向位置調整  
 DOWN(下) : OSD メニュー内での下方向移動  
           ビデオウォールモード時、画面の下方向位置調整  
 LEFT(左) : OSD メニュー内での左方向移動  
           ビデオウォールモード時、画面の左方向位置調整  
 RIGHT(右) : OSD メニュー内での右方向移動  
           ビデオウォールモード時、画面の右方向位置調整  
 ENTER : 選択した機能の確定・実行

## 3-3 操作方法

本体前面のボタン、または付属の赤外線リモコンのいずれかを使用して操作します。どちらの操作方法でも OSD メニューを表示可能で、本体上、またはリモート操作でシステム設定を構成することができます。

また、マルチビューモード、マトリックスモード、ビデオウォールモードの切り替えや、入力・出力ソースの選択といったクイック操作にも対応してしますので、コンテンツの迅速な切り替えを実現します。

## 4 設定・操作 (前面ボタン操作)



注意: 設定・操作時、Input/Output 1~4 ボタンは、1~8 ボタンになります。  
 Input1~4=番号ボタン 1~4、Output1~4=番号ボタン 5~8

## 4-1 マトリックスモード

まず、前面パネルの「Matrix」ボタンを押します。



## 4-1-1 入力/出力の選択

- ① Output 1~4 ボタンを押し、目的の出力モニターを選択します。対応するLEDインジケータが点灯します。複数の出力を同時に選択することも可能です。
- ② Input 1~4 ボタンを押し、入力ソースを選択します。選択された入力ボタンが点灯します。
- ③ Enter ボタンを押し、入力/出力の選択を確定します。  
 例) 入力 1 の信号を出力 2 と 4 のモニターへ表示する  
 Output 2 → Output 4 → Input 1 → Enter の順に押す

## 4-1-2 シーンの保存

現在の表示レイアウトをプリセットとして保存します。(最大 8 件まで)

- ① Save ボタンを押します。
- ② Input/Output 1~4 ボタンを押し、現在の出力の映像および音声ソースを保存先として選択します。
- ③ Enter ボタンを押して確定します。  
 例) 現在のシーンをシーン 5 としてプリセット登録する  
 Save → Output 1 → Enter の順に押す

## 4-1-3 シーンの読み込み

プリセット登録したシーンを読み込んで表示します。

- ① Load ボタンを押します。
- ② Input/Output 1~4 ボタンを押し、保存されている出力/入力/音声の設定を選択します(最大 8 セット)。
- ③ Enter ボタンを押して確定します。  
 例) プリセット登録したシーン 6 を呼び出して表示します。  
 Load → Output 2 → Enter の順に押すと、出力 2 に、表示されます。

## 4-2 ビデオウォールモード

2×2 モニター4 台でさらに大画面表示が可能

まず、前面パネルの「Video Wall」ボタンを押します。



### 4-2-1 入力選択

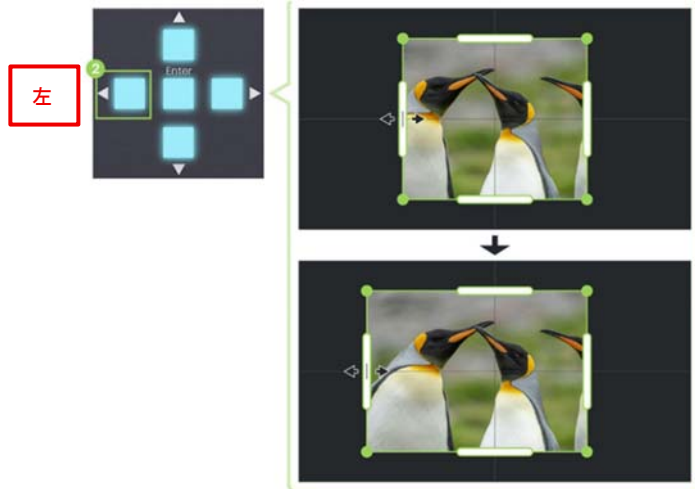
- ① Input 1~4 ボタンを押し、目的の入力ソースを選択します。選択された入力ボタンが点灯します。
- ② Enter ボタンを押し、入力選択を確定します。  
例) 入力1の映像を2×2 モニター4 台で大画面表示  
Video wall → Input 1 → Enter の順に押す

### 4-2-2 ベゼル補正

- ① Function ボタンを押します。Function/Up/Down/Left/Right/Enter ボタンのLED が点灯します。
- ② Up、Down、Left、Right ボタンを押し、画面位置を調整します。移動量は入力解像度によって異なります。



ベゼル補正モードでは、矢印キーを使用し、ビデオウォールの内側ベゼル余白を調整し、映像全体を仮想的に拡大または縮小します。  
各キーを押すと、対応する方向へ画像が外側に拡張されます  
例) Left キーで画像が左方向へ拡張されます



- ③ Enter ボタンを押して位置調整を終了します。

## 4-2-3 シーンの保存・読み込み

マトリックスモードの手順(4-1-2 / 4-1-3)P9 を参照してください。

シーンの保存

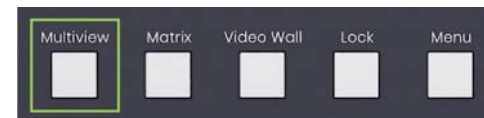
- 例) 現在のシーンをシーン 5 としてプリセット登録する  
Save → Output 1 → Enter の順に押す

シーンの読み込み

- 例) プリセット登録したシーン 5(POP)を呼び出して表示します。  
Load → Output1 → Enter の順に押すと、出力 2 に、表示されます。

## 4-3 マルチビューモード

複数の映像を同時に表示



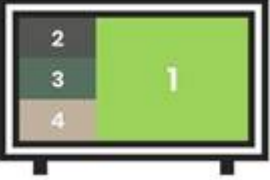







### 4-3-1 入力／出力の選択

- ① Output 1~4 ボタンを押し、目的の出力ウィンドウを選択します。ボタンのLED が点灯します。複数の出力を選択することも可能です。  
Output 1 は左上のウィンドウです。以降、順に配置されます。
- ② Input 1~4 ボタンを押し、目的の入力を選択します。ボタンのLED が点灯します。
- ③ Enter ボタンを押し、入力／出力の選択を確定します。

### 4-3-2 ウィンドウレイアウトの選択

- ① Function ボタンを押し、レイアウト選択モードに入ります。
- ② Input 1~4、または Output 1~4 ボタンを押し、8 種類のウィンドウレイアウトから選択します。
- ③ Enter ボタンを押し、選択したレイアウトを確定します。  
例) 4 分割モード QUAD-3 のレイアウトで表示  
Function → Input 3 → Enter の順に押す

<p>1) 4 分割モード QUAD-1</p>  <p>入力 1~4 を 4 分割で等分表示</p>	<p>2) 4 分割モード QUAD-2</p> 
<p>3) 4 分割モード QUAD-3</p> 	<p>4) CASCD カスケード</p>  <p>入力 1~4 を単画面で自動切替表示</p>
<p>5) POP: ピクチャー・オン・ピクチャー</p>  <p>入力 1~4 を画像の上に画像を表示します</p>	<p>6) CROP クロップモード</p>  <p>入力 1~4 の画像を切り出して縦に表示</p>
<p>7) PIP: ピクチャー・イン・ピクチャー</p>  <p>大画面の上に、小画面を表示</p>	<p>8) PBP ピクチャー・バイ・ピクチャー</p>  <p>2 つの画像を左右に等分表示</p>

## 4-3-3 シーンの保存／読み込み

マトリックスモードの手順(4-1-2 / 4-1-3)を参照してください。

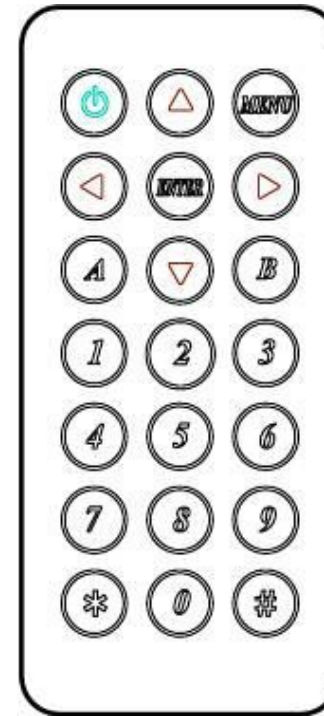
## 5 赤外線リモコン

初めてリモコンを使用する場合は、赤外線リモコンの ID が本体の ID と一致していることを確認してください。初期設定の赤外線リモコン ID は「0」です。

## 5-1 リモコン ID の設定方法



- ①リモコンの電源ボタンを押し続けます。
- ②電源ボタンを押したまま「0」キーを押します。
- ③両方方のボタンから指を離します。これで ID は 0 に設定されます。




## 5-2 ボタンの説明

ボタン	ボタン名	機能
	POWER	電源オン/スタンバイ
	MENU	OSD メニューに入る
	UP	OSD メニュー内で、上に移動
	DOWN	OSD メニュー内で、下に移動
	LEFT	OSD メニュー内で、左に移動
	RIGHT	OSD メニュー内で、右に移動
	ENTER	選択した機能を実行
	OFF	すべての出力をオフにする
	LOCK	パネルボタンのロック/ロック解除に使用し、誤操作を防止します
		①Input 1、②Input 2、③Input 3、④Input 4 を選択
		Output 1、⑥Output 2、⑦Output 3、⑧Output 4 を選択
	RESERVED	予備(未使用)
	MATRIX	マトリクスモードに切り替え
	MULTIVIEW	マルチビューモードに切り替え
	VIDEO WALL	ビデオウォールモードに切り替え

## 6 OSD メニュー

MENU ボタンを押すと、画面左上に、OSD メニューが表示されます。

SETUP(設定) / PICTURE(画面・画質) / SYSTEM(システム)

 OSD メニュー操作は、前面パネルの方向ボタン(上/下/左/右/確定) もしくは、赤外線リモコンで行います。メニュー項目が選択されると、文字色が白くなります。設定変更後は確定してください。文字色はグレーに戻ります。

## 6-1 SETUP 設定

## 6-1-1 Resolution 解像度

OUTPUT 1~4 に対し、それぞれ、解像度を設定できます。

**操作例)** MENU ボタンを押し、Setup が選択されている状態(アイコン黄色)で、下ボタンを押し、RESOLUTION を選択します。右/左ボタンで値を変更します。

1080p60 (デフォルト値)

480p60	1080p50	4K25UHD	4K25DCI	1366x768	1920x1200
576p50	4K60UHD	4K60DCI	1024x768	1440x900	1920x1440
720p60	4K50UHD	4K50DCI	1280x800	1600x1200	2560x1440
720p50	4K30UHD	4K30DCI	1280x1024	1680x1050	2560x1600

## 6-1-2 EDID (Extended Display Identification Data)

INPUT 1~4 に対し、下記のとおり、設定できます。

4K60Hz、OUT 1、OUT 2、OUT 3、OUT 4

## 6-1-3 MATRIX 入力/出力の割り付けを行います。

- 1) VIDEO 1~4: それぞれ IN 1~4 / OFF を設定します。
- 2) AUDIO 1~4: FOLLOW(\*), OFF, IN 1~4
- 3) SAVE 保存 : SCENE 1~8
- 4) LOAD 読込 : SCENE 1~8

## 6-1-4 MULIT VIEW マルチビュー

- 1) LAYOUT レイアウト  
OFF、QUAD 1、QUAD 2、QUAD 3、CASCD(カスケード)、POP(ピクチャー・オン・ピクチャー)、CROP(クロップモード)、PIP (ピクチャー・イン・ピクチャー)、PBP(ピクチャー・バイ・ピクチャー)
- 2) Window 1~4: IN1~4 / OFF
- 3) Audio1~4 : IN1~4 / FOLLOW(\*) / OFF



コマンド	パラメータ	説明
MVWINA	0:オフ 1~4:入力 1~4	マルチビュー モードにおいて、 入力 n をウィンドウ A(1)に割り当てます。
MVWINB	0:オフ 1~4:入力 1~4	マルチビュー モードにおいて、 入力 n をウィンドウ B(2)に割り当てます。
MVWINC	0:オフ 1~4:入力 1~4	マルチビュー モードにおいて、 入力 n をウィンドウ C(3)に割り当てます。
MVWIND	0:オフ 1~4:入力 1~4	マルチビュー モードにおいて、 入力 n をウィンドウ D(4)に割り当てます。
MVWINALL	0:オフ 1~4:入力 1~4	マルチビューモードにおいて、 入力 n をすべてのウィンドウに割り当てます。
MVADOOUT1	0:オフ 1~4:入力 1~4	マルチビューモードにおいて、 入力 n の音声を出力 1 に割り当てます。
MVADOOUT2	0:オフ 1~4:入力 1~4	マルチビューモードにおいて、 入力 n の音声を出力 2 に割り当てます。
MVADOOUT3	0:オフ 1~4:入力 1~4	マルチビューモードにおいて、 入力 n の音声を出力 3 に割り当てます。
MVADOOUT4	0:オフ 1~4:入力 1~4	マルチビューモードにおいて、 入力 n の音声を出力 4 に割り当てます。
MVADOOUTALL	0:オフ 1~4:入力 1~4	マルチビューモードにおいて、 入力 n の音声をすべての出力に割り当てます。
VDWALLRX	0:オフ 1~4:入力 1~4	ビデオウォールモードにおいて、 入力 n を選択します。
VDWALLADOOUT1	0:オフ 1~4:入力 1~4	ビデオウォールモードにおいて、 入力 n の音声を出力 1 に割り当てます。
VDWALLADOOUT2	0:オフ 1~4:入力 1~4	ビデオウォールモードにおいて、 入力 n の音声を出力 2 に割り当てます。
VDWALLADOOUT3	0:オフ 1~4:入力 1~4	ビデオウォールモードにおいて、 入力 n の音声を出力 3 に割り当てます。
VDWALLADOOUT4	0:オフ 1~4:入力 1~4	ビデオウォールモードにおいて、 入力 n の音声を出力 4 に割り当てます。
VDWALLADOOUTALL	0:オフ 1~4:入力 1~4	ビデオウォールモードにおいて、 入力 n の音声をすべての出力に割り当てます。

コマンド	パラメータ	説明
LOADSM	1~8	マトリクスモードでシーンを読み込みます
SAVESM	1~8	マトリクスモードでシーンを保存します
LOADMV	1~8	マルチビューモードでシーンを読み込みます
SAVEMV	1~8	マルチビューモードでシーンを保存します
LOADVDWALL	1~8	ビデオウォールモードでシーンを読み込みます
SAVEVDWALL	1~8	ビデオウォールモードでシーンを保存します
VERSION		ファームウェアバージョンを取得します
FACTORY		工場出荷時設定にリセットします
HELP		すべての RS232 コマンドを表示します

例) \*△はスペース

- SMADOOUT1△03  
→ マトリクスモードにおいて、出力 1 を入力 3 に切り替えます。
- MVADOOUT3△04  
→ マルチビューモードにおいて、出力 3 を入力 4 に切り替えます。
- VDWALLADOOUT3△02  
→ ビデオウォールモードにおいて、入力 2 の音声を出力 3 に設定します。

※ コマンドは大文字・小文字を区別しません。

※ コマンド文字列が正しい場合、「OK」を返し、誤っている場合は「NG」を返します。



注意:

RS232 はハードウェアハンドシェイクをサポートしていません。

## 8 製品仕様 TMS-HM44

規格	HDMI® 2.0、HDCP 2.2
解像度	最大 4K60Hz
ダイナミックレンジ	SDR、HDR10
音声フォーマット	PCM 2.0CH Multich PCM 5.1CH , 7.1CH Dolby Digital 2.0CH , 5.1ch Dolby Digital Surround 2.0CH Dolby TrueHD 7.1ch DTS 2.0CH , 5.1CH DTS-HD Master 5.1CH , 7.1CH DTS:X Master 7.1CH
外部インターフェース	RS-232、ボーレート: 115200bps
赤外線対応	20-60Khz、±45°、5m
映像入力	4 HDMI® Type-A
映像出力	4 HDMI® Type-A
アナログ音声出力	4 端子台 5ピン
RS232	1 端子台 3ピン
電源入力	DC12V (電源アダプター付属)
消費電力	最大 20W 待機電力 1.56W
動作温度/湿度	0°C ~ +55°C / RH 0 ~ 95%
保管環境温度	-40°C~80°C
寸法	437(W) X 44(H) X 180(D)mm
重量	約 2.1Kg
材質	スチール

- 入力ストリーム内のダイナミックレンジメタデータはパススルーされ、完全に保持されます。
- 入力ストリーム内の音声データはパススルーされ、完全に保持されます。

以上